

令和4年1月11日

データサイエンス・オンライン講座 「誰でも使える統計オープンデータ」の開講

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を本日開講します。

本講座は、社会人・大学生に統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説する講座です。

- データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を本日開講します。
- 本講座は、政府統計の総合窓口であるe-Stat、総務省及び（独）統計センターが提供する統計GIS、API機能等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。
- 本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan3/>）において、令和4年3月7日（月）まで、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

※ 本講座は、令和3年1月に実施した講座を再び開講するものです。

（別添資料）

別紙 データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：和田課長補佐 山田主査 石田主査

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail：y-senryaku_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「_atmark_」と表示しています。メールを送る際に「_atmark_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：e-Stat※1、統計GIS※2、API機能※3等を使い、
統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：令和4年1月11日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一朗氏（「GEE0※4」開発者）、
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週※5	各週のテーマ	内 容
1	e-Statを使ったデータ分析	e-Statの統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ (e-Statの機能紹介、活用事例紹介等)
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ (公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等)
3	統計GISの活用	統計データと地図を組み合わせた統計GISの活用方法を学ぶ (jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等)
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ (統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等)

※1 政府統計の総合窓口

※2 地図で見る統計 (jSTAT MAP)

※3 データを自動で取得できる機能

※4 「GEE0 (ジーオ)」は不動産販売価格予測サイト

※5 1～4週のほか、特別講義として主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく、簡単に利用できる形で提供する「統計ダッシュボード」 (<https://dashboard.e-stat.go.jp/>) の使い方を解説しています。

▶ 講座の流れ



講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開 講 時 期)
平成27年3月、11月
平成28年3月※、12月
平成29年5月※
平成30年5月、11月※
平成31年4月※
令和元年10月、12月※
令和2年5月、9月※、12月※
令和3年5月、9月※

(学 習 時 間)
1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約144,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開 講 時 期)
平成28年4月、11月※
平成29年11月
平成30年6月※
令和元年5月、10月※
令和2年9月
令和3年9月、12月※

(学 習 時 間)
1回10分程度×5～6回程度
(1週間)×5週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約55,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

(開 講 時 期)
平成29年6月、10月※
平成30年12月
令和2年1月
令和3年1月、5月※

(学 習 時 間)
1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約28,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座